

安全・安心なおいしい水をお届けします！

# 水道水ができるまで

蛇口からいつでも当たり前のように出てくる水道水。飲み水に料理、お風呂に洗濯など、私たちの生活に欠かせないものです。そんな水道水はどのようにして私たちの家庭に届くのでしょうか。

今回は、水道水ができるまでの仕組みや安全・安心な水道水を各家庭に届けるための市の取り組みを紹介します。

ホームページのキッズページでも水道水のことをわかりやすく紹介しています！



検索

検索

項目	(おいしい水の指標)	
	おいしい水の指標	水に与える影響
蒸発残留物 (mg/L)	(30～200) 73～133	水に含まれるミネラルの含有量。適度に含まれるとココのあるまろやかな味がする。
硬度 (mg/L)	(10～100) 25～63	カルシウムとマグネシウムの量。多く含むと苦味を感じる。
遊離炭酸 (mg/L)	(3～30) 14.4～27.8	水に溶け込んでいる二酸化炭素で、さわやかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる。
臭気強度 (TON)	(3以下) 1未満	少ないほど良い。3以下は、異臭味を感じない水準。
有機物 (mg/L)	(3以下) 0.3未満	少ないほど良い。多いと渋みをつける。
残留塩素 (mg/L)	(0.4以下) 0.2	消毒用の塩素。多いとカルキ臭を与える。

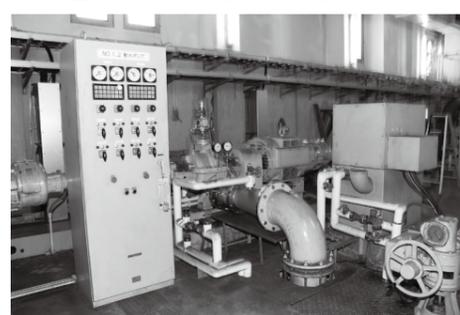
## 「おいしい水」の条件とは？

皆さんは「おいしい水」の条件を知っていますか？おいしい水とは、ミネラル、硬度、炭酸ガスをバランス良く含む、冷たすぎない水のことです。厚生労働省の「おいしい水研究会」によると、これらを数値化して「おいしい水」の条件を発表しています。

左の表は敦賀市の水道水を各指標と比較したものです。全ての条件を満たしており、敦賀市の水道水は「おいしい」と言えます。おいしい水の条件（資料：おいしい水研究会）

## STEP4 各家庭へ配水

配水池の水は高低差を利用する自然流下で各家庭に送ります。また、配水ポンプで圧力を上げて送る施設もあります。



▲昭和浄水場内の配水ポンプ。

## STEP3 配水池で貯水

いつでも安定して水道水を提供できるように、配水池で貯水します。



▲市内34か所に配水池を設置しています。

## STEP2 浄水場で消毒

敦賀市の地下水はとても良質です。そのため、より安全な水にするために塩素消毒のみを行います。



▲野神の昭和浄水場のほか、中郷浄水場、舞崎浄水場等があります。

## STEP1 水源から取水

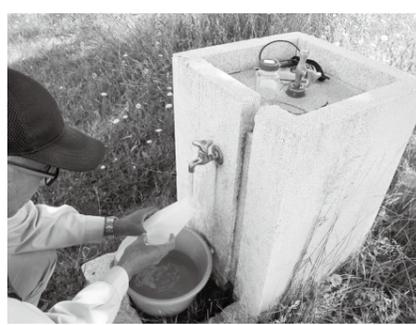
主な水源は地下水。深さ50～100mの深井戸からポンプで地下水をくみ上げます。



▲昭和浄水場の中にある水源。地下水をくみ上げるポンプを設置しています。

## 1 水道水が届くまで

敦賀市では、どのような仕組みで水道水が各家庭に届くのでしょうか。左の写真で見てください。



▲水質検査の様子。水道水が安全かどうか常に検査します。

検索

検索

## 2 水の安全を保つ 徹底した水質検査

敦賀市の水道水は安心しておいしく飲んでいただけます！



上水道課職員 星田主事

安全、安心な水を保つために、敦賀市では51項目の水質基準項目をはじめ、「水道法」で定められている多数の検査で安全性を確認しています。（水質検査結果は市のホームページでご覧いただけます。）  
皆さんがよく口にするミネラルウォーターの水質基準は39項目となっており、水道水はより厳しい基準を満たしています。

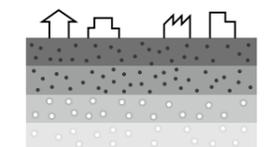
## 昭和浄水場の役割 安全・安心な水の要

昭和浄水場では、市内全域の水道情報を集中管理しています。水質やポンプなど設備の稼働状況に異常がないか、24時間体制で監視しています。



## 敦賀市の水道水がきれいで、おいしい理由

敦賀市の水道水は、主に地下水が水源です。これは全国的にも数少ないことです。雨など地表に降り注いだ水は、何層もある地層に浸透していきます。この過程で、自然にろ過され、きれいな地下水になります。このとき、地中のミネラル分や炭酸ガスが溶け込みおいしい水になります。



地下に水が浸透する過程で、大部分の不純物や有機物が取り除かれます。